

## 13. 精巣の奇形腫(Teratoma in testis)

誌名	鶏病研究会報
ISSN	0285709X
著者名	細野,いづみ
発行元	鶏病研究会
巻/号	38巻4号
掲載ページ	p. 206
発行年月	2003年2月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



## 13. 精巣の奇形腫 (Teratoma in testis)

キーワード：奇形腫，精巣



写真 1. 腫瘤部剖面。剖面はやや膨腫，中心部は光沢のある乳白色から桃白色で充実性。辺縁部にかけては出血巣，壊死巣がみられ，黄白色線維様物質が中心部でまばらに，辺縁部で塊状にみとめられた。

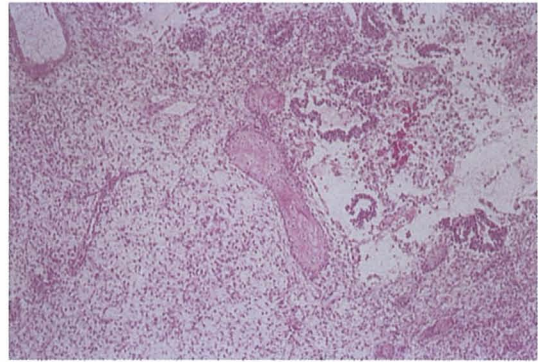


写真 2. 腫瘤部では管状配列をとる上皮様細胞，重層扁平上皮，膠原線維を伴う間葉系細胞を認めた。HE 染色。

動物：70 日齢，雄，ブロイラー

発生状況および症状：管内外剥ぎ式の食鳥処理場で処理された 1 農場 2,360 羽中の 1 羽である。腫瘍で廃棄された鶏は本症例のみ。生体検査時に著変は認めなかった。

肉眼所見：体腔内の腎臓よりやや頭側に，3×3×4 cm の卵円形桃白色腫瘍を 1 つ認めた（写真 1）。腫瘍表面は血管が走行する被膜に被われていた。腫瘍剖面には壊死巣，乳～桃白色充実性部位，黄白色線維様物質を認めた。他臓器に著変はなかったが，腫瘍部切除後，左精巣は正常にみられたが右精巣が見あたらなかった。

組織所見：腫瘤部には，出血巣，壊死巣を認めた。腫瘤部を構成する細胞のうち，比較的多く認めた細胞は，丸い核を持ち，細胞質が好塩基性から両染色性で，細胞境界が明瞭であった。その細胞の配列は，シート様からロゼット様，管状配列を示し，上皮様の配列を取る傾向がみられた（写真 2）。核分裂像も多く認めた。また，線維を伴って増殖する楕円形の核を持つ細胞を認めた。アザン染色で増殖する線維には，膠原線維の他平滑筋様線維を認めた。さらに，粘液性の基質を背景に細胞がまばら

に増殖する部位を認め，同部位内の一部で細胞体に空胞をもつ細胞の管状配列像を認め，これらの細胞の空胞内，管腔内に PAS 陽性物質を認めた。また，腫瘤組織内に重層扁平上皮も認めた。

病原検査：実施せず。

解説：鶏の奇形腫は卵巣，精巣で見られることが多い。精巣では，時にこぶし大に達し，被膜を持ち，嚢胞を含んでいることが多いとされる。また，鶏の奇形腫は多くが中胚葉，外胚葉の 2 胚葉からなり，3 胚葉性のものは少ないとされる。本症例では，PAS 陽性物質を細胞質内に認め，管状配列をとる上皮様細胞や，重層扁平上皮，筋線維様線維を細胞質内に認める細胞，膠原線維を伴う間葉系細胞など，3 胚葉成分の組織像を認めるところから奇形腫とした。